

## 作業所日記

秋松 仁美

三月になり暖かい日もあればまだ冷え込む日もありますが、日に日に春の気配を感じる今日この頃です。通信を書くのは今回が初めての秋松です。よろしくお願いします。

私は葦の会に入職してまだ1年に満たないのですが、メンバーと毎日を楽しく過ごしています。昨年までは神奈川県で製パン作業をしていました。趣味のパン作りがきっかけで「パンを作れる人募集」という求人を見て応募したのですが、よく見ると、とても小さく（障がい者と作業します）という文字が入っていました。今まで障がいのある方とは全く接したことがない私はすぐに断ったのですが1度施設を見に来てください！と当時の所長に言われ渋々行ってみました。初めの印象は今まで思っていたこととは全く違って、皆明るく意志の疎通ができることにびっくりしました。しかし未経験な私はダメならすぐに辞めればいや、とりあえずやってみよう。という安易な

で気持ちで就職したこの仕事も気が付けば楽しく4年勤めていました。そして昨年転居することになり再就職は迷うことなく支援員と決め、葦の会の職員になることができました。これからも度々通信を書くことになるので宜しくお願い致します。

さて作業所の内職は主に3社から請負、いつも同時進行で行っております。最近では作業量も増えて、作業場、陶芸室、3Fと3ヶ所に分かれて作業をしています。メンバーも職員も得意な作業、苦手な作業がありま

すが、メンバーは苦手な作業も何回か行くと習得するのでいつも感心します。

主な仕事は紅茶やお茶ティーパックの袋入れ作業を行いました。しかし紅茶はたくさんの種類の銘柄があり、職員も毎回混乱してしまうほどでした。紅茶の袋入れでは明久さんや宮島さんがとても活躍してくれています。その紅茶を入れる箱の箱折りは、職員が何も言わなくても花房さんが自ら黙々と折ってくれます。お茶は鄭さんが手際よく、箱の形が丸みを帯びているのにとても器用に積み上げて仕上げしてくれます。そして、もう1つの会社さんからは、皆さんがよく知っているお菓子メーカーのゼリーの箱折りや、月餅と言うお菓子の箱折りを行いました。どちらも初めての箱折りでしたが松村さん、服部さん、幸坂さんが経験を活かして手慣れた様子で作業していました。さらにもう1件は、単発的に頂く仕事なのですが（最近はこの単発でいただく間隔がかなり短くなってきています）作業は台紙に説明書を貼る作業でした。以前にも同じ仕事があったそうです。昨年葦の会のメンバーになった内藤さんは始めて行いましたが、とても手際よく器用にしかも黙々と貼ることができました。このように毎月仕事が途切れることなく作業しています。

さらに、今月の公園清掃は暖かく車で移動せずお散歩がてら歩いて往復をしました。清掃中は公園で遊んでいた女の子に「お掃除ありがとう」と言われ、松村さんにもっこり。とても嬉しく思いました。これから暖かくなり公園の草がたくさん生えしかも成長が速く、ゴミも増えると思うので地域に貢献できるようにがんばりたいです。ポスティングでは不動産会社の3枚のチラシと、地域情報誌を配りますが、チラシは3枚重ねて折ってから、情報誌は折込チラシを入れてからと事前に準備をしてから行います。チラシが飛ばないように注意して風の強い日も1軒1軒配りました。

これからも1人1人の個性を尊重しながら、できなかったことができるように、苦手なことが克服できるように取り組んで行きたいと思います。

